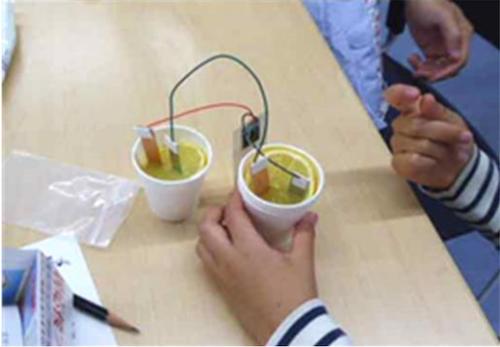
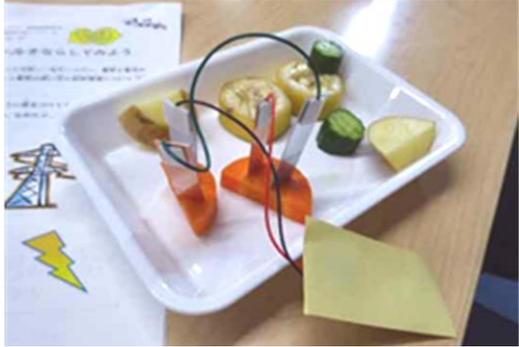


2024 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」			
題名・副題	レモン電池を作ってオルゴールを鳴らしてみよう（親子教室）			
月日・時間	2024年6月1日(土) 10:00~12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 1階・会議室			
部会・講師名	水・大気部会 長村吉洋	参加数	7組 14名	講師数 5名
写真・画像				
	レモン電池でオルゴールが鳴るかな？		他の果物や野菜で実験してみました	
				
	水溶液で電池を作れるかな？		人間電池の実験の様子	
成果解説	<p>この教室は、電池や電気について学び、どのようにすれば電気が作れるのか、金属板と果物などを利用してオルゴールを鳴らして確かめます。また、地球環境と未来のエネルギーについても考えます。</p> <p>最初に、電気と電池の違いについて考えてもらってから、レモン電池の工作と実験を行いました。電子メロディの動作確認後、金属板と電子メロディを接続し、レモン1個でどんな音が鳴るか観察。次に、レモンの数を増やしたり、レモン以外の果物ではどうか試してもらいました。後半は、水が電池になるか確認し、レモン水を作って音を確認してもらいました。また、お茶やジュース、スポーツドリンクなどにも挑戦してもらいました。最後に、塩水を作ってもらい、消毒液を加えると、LED が点灯することも確かめてもらいました。さらに、人間が電池になるか、4~5人で実験してもらいました。銅板とアルミホイルに、塩水で濡らした手をおくと、小さいけれど、メロディが鳴ることも確認できました。</p> <p>手回し発電機でLEDを点けたり、太陽電池でプロペラが回ったりする体験も含めて、電気エネルギーと、これからのエネルギーについて考えてもらう機会を提供できたと思います。</p>			